



# 南山城相談支援センターニュース



## 活動報告① 夏の研修会について



今年度の南山城相談支援センターの夏の研修会は、大阪医科薬科大学LDセンターの栗本奈緒子様をお呼びして、「国語や算数の初歩でつまずきのある児童生徒への指導・支援」について御講義いただきました。

栗本先生からは、教科学習の初歩でつまずきのある児童生徒の背景にある困難さについて解説していただき、それらの困難に対応するための具体的な指導法について御講義いただきました。

小学校をはじめ、中学校や教育局からも御参加いただき、現地参加、WEB参加合わせて63名の先生方に御参加いただきました。

参加者の先生方からは「児童生徒のアセスメントの方法や、学習のつまずきの原因、指導・支援の方法まで、具体的に御講義いただき、とてもイメージしやすく、今後の指導の参考になることがたくさんありました」

「前半の講演で具体的な検査や支援等についてお話をされていたので、後半の事例がよりイメージしやすく、実践の場面での活用が想定できました」等の感想をいただきました。

多くの方の御参加ありがとうございました。



## 特集〈特別支援教育の扉〉

### 国語や算数の指導のヒントになる書籍の紹介

今月号では、学校で活用できる書籍を紹介したいと思います。

書名：国語・算数の初歩でつまずく子への教え方と教材

著者：栗本 奈緒子（大阪医科薬科大学 LDセンター 言語聴覚士）



今年度の夏の研修会で講師として来ていただいた栗本先生の本です。

「文字の読み書き」「文章題」など、子どもたちがつまずいている内容から、効果的な指導方法を調べることができます。またこの本にはコピーして使用できる教材もついていますので、学校の指導ですぐに活用することができます。

## 活動報告② 相楽地域特別支援連携協議会の実施について

毎年、南山城相談支援センターが事務局となり、地域の特別支援教育を推進していくために、教育、医療、福祉、就労、就学前等の様々な機関が集まり協議を行う、連携協議会を実施しています。

今年度のテーマは就学時期の児童生徒への支援をテーマに、交流や協議を行っています。

6月28日(水)に実施した第1回の連携協議会では、各機関が他の機関に聞いてみたいことを交流する活動を行いました。福祉機関や教育機関、医療機関等から他機関に聞きたいことを交流し、お互いの機関のことをよりよく知る機会となりました。

今後も各機関が連携して子どもたちの特別支援を実施していけるよう、各機関との交流や情報共有を行っていきたいと思います。

## 活動報告③ 理解教育の実施について

お札、牛乳パック、お酒の缶、シャンプーとリンスのボトル……。身近な物にユニバーサルデザインの考え方を取り入れ、誰もが使いやすい工夫をされているのは、皆さんご存じでしょうか。

6月1日(木)の相楽東部広域連合立和東小学校で、3年生の児童を対象に、ユニバーサルデザインについての授業を行いました。

当日は子どもたちに実際の物に触ってもらって、それぞれの物のどこにユニバーサルデザインの工夫があるかを考えてもらいました。子どもたちはそれらの物をよく観察して、どこに工夫があるのか、どんな人たちにとって使いやすいのか等、一生懸命考えていました。

南山城相談支援センターでは子どもたちへの理解教育も実施していますので、お気軽にお問合せください。



どこがユニバーサルデザインかわかりますか？

